

令和4年度 薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】報告

【事業の目的】

医療技術の高度化・専門分化が進展し、一方で少子高齢化に伴い人口構造が変化する中、より良い医療を患者に提供していくためには、薬剤師の機能強化・専門性向上に資するために必要な知識及び技能を習得させる等の生涯教育が重要である。

本事業では、地域における専門性の高い薬剤師の育成及び薬局と医療機関等との連携体制構築に向けた取組を通して、患者等を支える地域の医療提供体制の確保につなげることを目的とする。

【取組テーマ】

薬物療法を受けている小児患者に対し、高い専門性に基づく特殊な調剤や薬学的管理を実施し、入退院時及び在宅医療等において地域の医療機関等と薬学管理情報の共有を効果的に行うための取組

【事業の実施経過】

- 11月28日 地域医療委員会ワーキンググループを立ち上げ、事業計画を企画立案する
- 12月6日 NICUを有する医療機関の連携等についての講演(2月開催)を企画。事業実施について地域医療委員会へ報告
- 1月17日 公衆衛生・学校保健委員会との協力で、学校における医療的ケア児への支援に関する研修(3月開催)を企画
- 1月27日 地域医療委員会ワーキンググループにて ZOOM 会議を実施し、研修プログラム実施方法等の確認
- 2月1日 生涯学習委員会の協力により、オンデマンド配信 (manaable) の承認
- 2月16日 地域医療委員会において研修プログラムの最終確認(当日の運営方法等)、参加者へのアンケート案を作成。小児在宅対応薬局調査の集計結果確認
- 2月19日 第9回病診・薬局業務推進・改善セミナーの開催、アンケート調査実施(事務局でアンケート結果の集計を行う)
- 3月4日 公衆衛生・学校薬剤師研修会の実施
- 3月15日 manaable で第9回病診・薬局業務推進・改善セミナーのオンデマンド配信周知

【事業の内容】

○NICUを有する医療機関の背景知識、連携、調剤方法の習得を目指す。

2月19日 第9回病診・薬局業務推進・改善セミナー

講演①：「当院NICUの紹介～在宅医療を要する児とは～」

熊本市民病院新生児内科 医長/新生児センター長 猪俣 慶

講演②：「医療的ケア、各種薬剤投与を要した児の経過」

熊本市民病院新生児内科 部長 井上 武

講演③：「NICU に入院となるこどもと家族における多職種連携」

熊本市民病院 小児看護専門看護師 楢田 晃子

講演④：「小児患者への薬剤師の関わり方」

熊本市民病院薬剤部 主任薬剤師 早坂 香織

○医療的ケア児の背景知識習得、医療的ケア児の就学支援

3月4日 公衆衛生・学校薬剤師研修会

講演：「学校における医療的ケア児に対する支援について」

熊本市教育委員会事務局 学校教育部 総合支援課 倉田 直子

○第9回病診・薬局業務推進・改善セミナー（小児在宅に関するアンケート）

質問1. ご勤務先はどちらですか

質問2. 現職場で過去1年間に小児在宅の経験はありますか

質問3. 本日の講演で医療的ケア児に関する知識は深まりましたか

質問4. 医療的ケア児に関わってよかったと思えるエピソードはありますか

質問5. 今後、医療的ケア児研修会で学びたいテーマ

○保険薬局の小児在宅実績件数調査

調査機関：令和5年1月～2月15日

調査内容：①医療的ケア児等への在宅訪問の実施可否

②医療的ケア児等への在宅訪問の実績

小児在宅対応薬局リストを（公社）熊本県薬剤師会ホームページに公開

○小児在宅マニュアルの更新

令和4年10月公開済み、第9回病診・薬局業務推進・改善セミナー内容を踏まえ更新内容検討

【事業の実施】

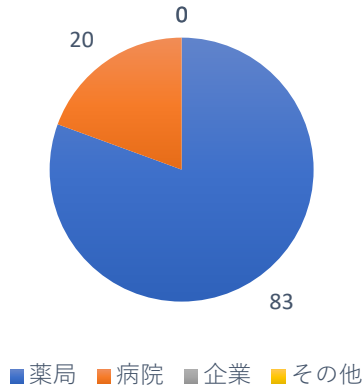
○ 第9回病診・薬局業務推進・改善セミナー参加者：137名

○ オンデマンド配信

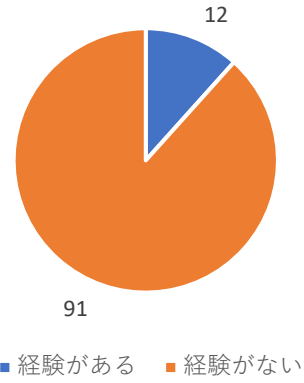
○ 公衆衛生・学校薬剤師研修会：110名

○ 第9回病診・薬局業務推進・改善セミナーにて小児在宅に関するアンケート実施
参加者137名中103名（75.2%）の回答を得た

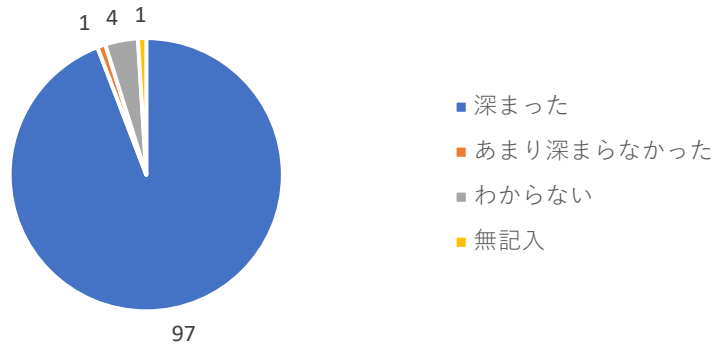
勤務先はどちらですか



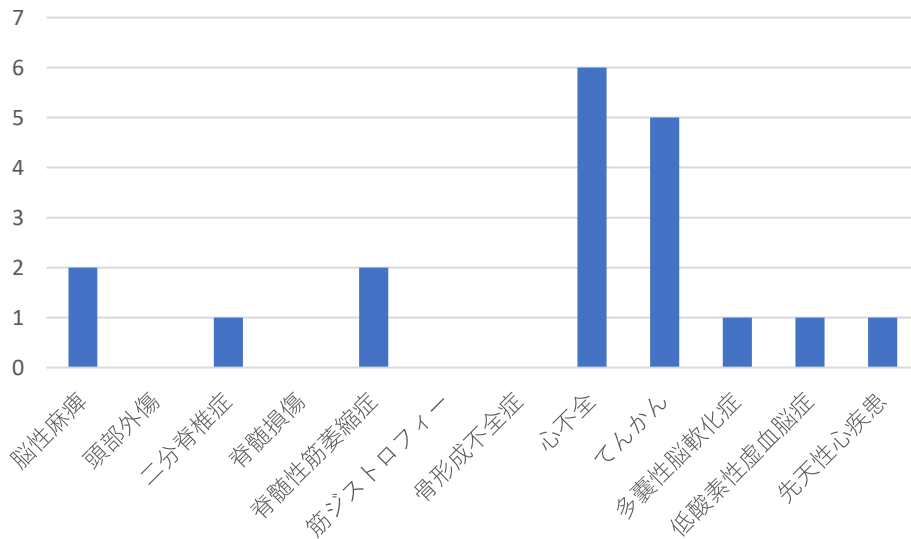
現職場で過去1年間に医療的ケア児に関わった経験はありますか



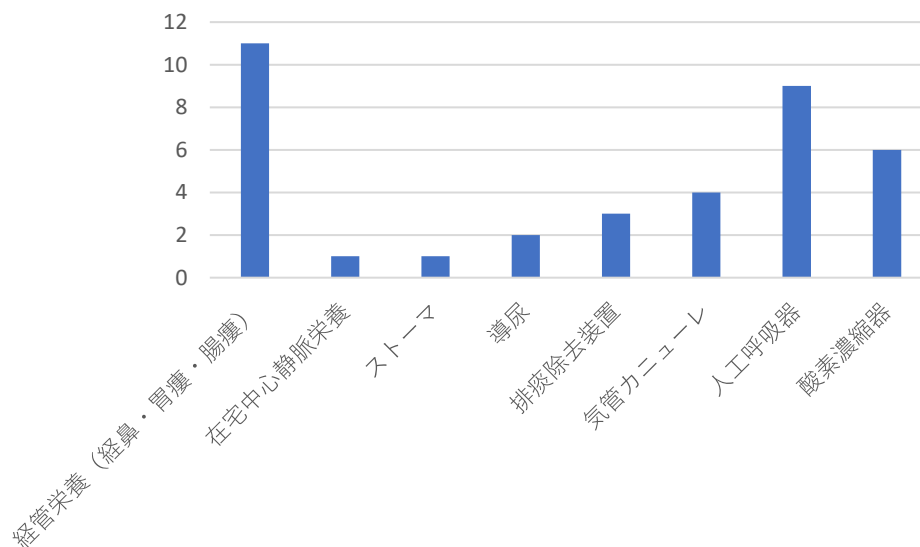
本日の研修会で医療的ケア児に関する知識は深まりましたか



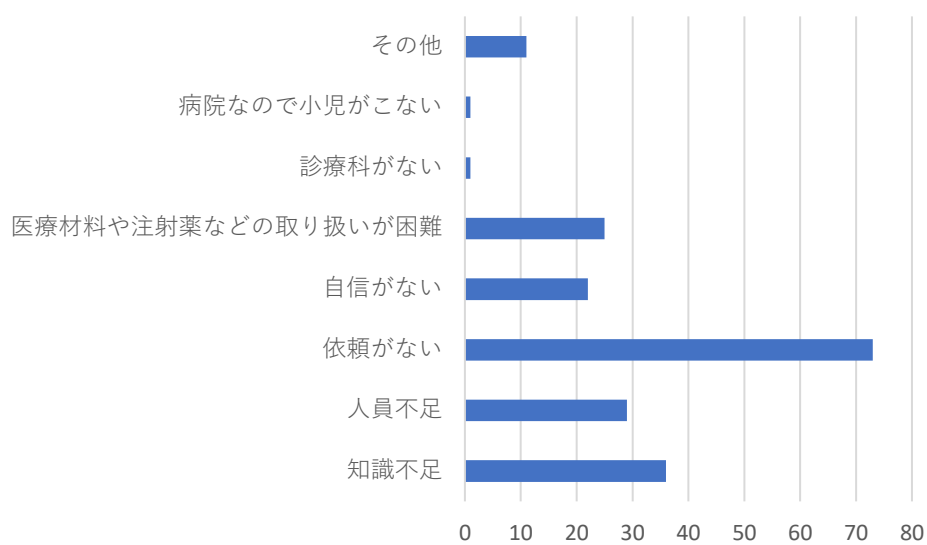
医療的ケア児の疾患は何ですか <複数回答可>



患児はどのような医療的ケアを受けていますか <複数回答可>



経験がない理由として考えられることは何ですか <複数回答可>



- 保険薬局の小児在宅実績件数調査では、179 軒の保険薬局が対応可能と回答があり、そのうち承諾の得られた 171 軒の一覧を熊本県薬剤師会ホームページに公開した。

(<https://www.kumayaku.or.jp/>)

🔍 熊本県内の薬局を探す | SEARCH

その地域の薬局一覧ページへ移動します。
薬局の基本情報に加え、在宅支援可能な薬局もあわせてご覧いただけます。
また、医療的ケア児※への在宅訪問に対応可能な薬局一覧を掲載しています。

薬局検索ページへ

在宅支援薬局とは？

医療的ケア児への在宅訪問可能な薬局一覧



令和 5 年 2 月更新

※医療的ケア児：日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為)を受けることが不可欠である児童のこと。

医療的ケア児に対する調剤は専門性が高く、未だ関りを持っていない薬局が多くある。今回のアンケートでも医療的ケア児に関わった経験がある薬剤師は11.7%にとどまった。小児に対する調剤手順に関して、当セミナー講師より熊本県薬剤師会小児在宅マニュアル改訂の協力依頼に内諾を得た。保険薬局薬剤師が確認できるよう当該マニュアルの更新を行う予定としている。また、アンケートの集計から、今後の研修テーマとして多職種連携や疾患知識、医療材料や注射薬調製など様々な要望が確認できた。医療的ケア児に係わる阻害要因を解消すべく、今後も研修を企画していく。

(公社)熊本県薬剤師会ホームページで公開している小児在宅受け入れ薬局を更新するとともに、自治体や熊本県医療的ケア児支援センターと共有し、周知を図る。また、熊本県医療的ケア児支援検討協議会で本取り組みを発表し、多職種の展開に広げていきたい。

本取り組みは各種研修会や学会、(公社)熊本県薬剤師会ホームページでの公開を通じて情報共有を行う予定である、他地域での展開に繋がることを期待したい。